

令和8年度ともに支えあうまちづくり活動創出助成金決定団体一覧

令和8年6月1日

| No | 区・支部 | 団体名 | 活動タイトル | 助成対象活動 (3条関係) | 活動内容 | 連携・協働団体 | 助成確定額 (円) | 決定日 |
|----|------|----------------|--------------------------|---------------------------|--|---|--------------|-----------|
| 1 | 宮城野区 | 岩切地区社会福祉協議会 | 男性の力で岩切地域を元気にする | 地域福祉の推進のために新たに取り組む活動 | 男性限定のサロンを開催する。 畑クラブの収穫物を調理・食して交流を深める。 地域活動のかかわりの少ない方にアプローチして参加を促す。 | 岩切地域包括支援センター | 100,000 | 令和8年4月27日 |
| 2 | 太白区 | 八木山まちづくりプロジェクト | 八木山をもっと知ろう！みんなの輪を広げよう！ | 地域福祉の推進のために既存の活動を拡充して行う活動 | 地下鉄東西線開業から10年、駅周辺の不動産売買が活発化し、60代を中心に地下鉄駅周辺の高齢者の流出が進み、子育て・現役世代の転入が見られる一方で、周辺地域は依然として「高齢の町・八木山」の姿をとどめている。こうした地域の二極化、住民の二極化に対応するため、昨年度、新旧住民の交流、子育て・現役世代と地域高齢者との交流をはかり、地域福祉を推進しようと、地域が一丸となって「八木山かるた」を製作、「完成披露かるた大会」「第1回八木山交流かるた大会」を実施した。今年度はこの流れを更に進め、八木山かるたを通じた地域交流を更に活発に行うとともに、かるたの読み札裏に地域の先人達が記載した解説文等をまとめて「八木山かるた解説冊子」にしてもっと八木山を知ってもらい、その英訳も掲載して小学校の英語学習等に活用してもらおう等して、既存の地域住民は勿論、子供達や新規住民にも八木山の魅力を更に伝え、地域の一体感を更に強く醸成していく | 八木山連合町内会 八木山地区社会福祉協議会 八木山市民センター 八木山から元気を届ける会 八木山水彩画クラブ 日本語ティールーム 青葉山・八木山フットパスの会 | 100,000 | 令和8年5月18日 |
| 3 | 泉区 | 松陵1丁目けやきの会 | 松陵1丁目けやきの会で行う多世代交流イベント | 地域福祉の推進のために新たに取り組む活動 | 住民同士の世代を越えた関係づくりを進め、自宅にこもりがちな高齢者の社会参加を促進するため、松陵1丁目近辺のこどもから高齢者までが参加できるイベントを開催する。 | 松陵1・2丁目町内会 松陵・永和台地区社会福祉協議会 | 100,000 | 令和8年5月18日 |
| 4 | 若林区 | 南文化親交会 | 次世代へつなぐ町内会デジタル基盤整備事業 | 地域福祉の推進のために既存の活動を拡充して行う活動 | 町内会の役員や一般会員のコミュニケーションの促進を図る為に学生団体の支援を受けながらデジタル化を段階的に推進する。その為にスマホの基本操作に加え、Googleアカウント等の活用、公式LINEを用いたデジタル回覧板の試行導入を行う。併せて研修会や個別相談を実施し、運用マニュアルを整備することで、業務の効率化と継続的に活用可能な運用体制の構築を図る。 | 学生団体「ステップアップ」 | 99,450 | 令和8年5月18日 |
| 5 | 宮城野区 | 安養寺地区社会福祉協議会 | 子どもボランティアの立ち上げと居場所づくり等活動 | 地域福祉の推進のために既存の活動を拡充して行う活動 | 子どもの健全育成を目的に、子どもたちのボランティアチームの立ち上げを図り、子どもたちと協働した地域づくり活動を推進する。特に、大きな課題だった子どもの居場所がない地区として、既存の集会所を活用した居場所づくりに新たに取り組むとともに、地域資源である「大堤沼」を活かした地区合同イベントを子どもたちと一緒に運営企画しながら、子どもたち同士、世代間の住民交流を図っていく。 | 安養寺地区地域学校協働活動推進委員会 4町内会（子ども会育成会、町内会健全育成担当者等） 民生委員児童委員連絡協議会 鶴谷小学校・中学校運営協議会委員 小松島地域包括支援センター | 100,000 | 令和8年6月1日 |